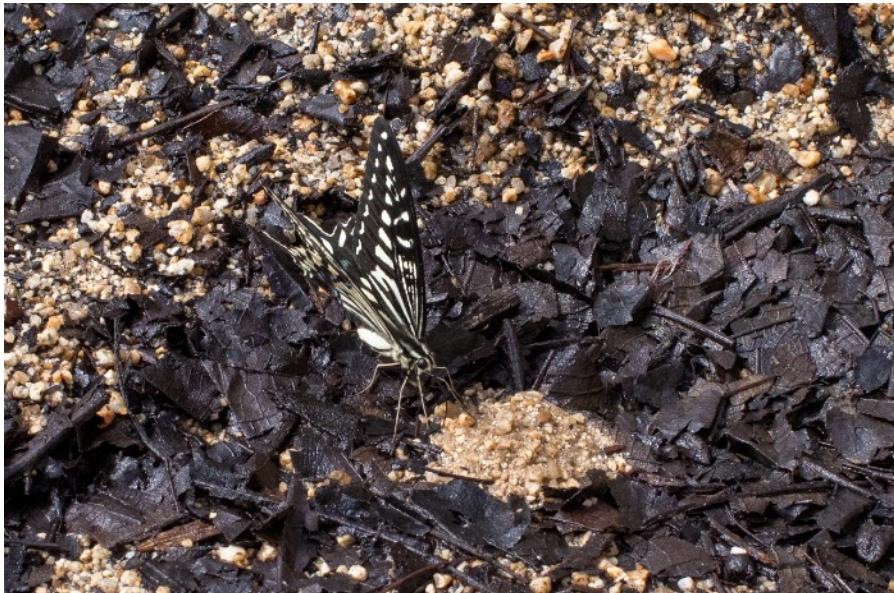


あのヤゴがついに!

6月13日(金)、雨上がりの学習園の様子を見に行きました。



ナミアゲハが地面に
とまって何かを吸つ
ているようです。

これは、吸水行動と言って地面の水分を吸っているのです。吸水行動の目的には諸説あります。このナミアゲハはオスと思われますが、オスが精子を体内に作る際、地面に含まれる無機塩類やアンモニアが必要なのだと思います。なので、そうした成分が比較的多く含まれると考えられる腐葉土がこぼれているあたりで吸水しています。



トウモロコシの上の
方にによきによきと。

これは、トウモロコシの雄花です。おしべがたくさんぶら下がっていて、大量の花粉を飛ばします。下の方には…。



ふさふさした毛のようなものが!

これが、トウモロコシの雌花です。毛のような部分はめしべです。絹糸（けんし）ともよばれていて、この一本一本がトウモロコシのつぶ一粒一粒につながっているのだそうです。ここで、受粉をしてトウモロコシが実ります。

<http://www.ja-gp-fukuoka.jp/education/akiba-hakase/002/004.html>

緑化委員会の花壇では夏の草花が咲いています。



千日紅（センニチコウ）が咲いています。

千日紅（センニチコウ）はよくシジミチョウの仲間がやって来ます。



百日草（ヒヤクニチソウ）もさいています。

これは、背が高くならない品種らしく、横に広がりながらさいています。

例のミニビオトープの池を見ると、小さな魚がいます。



ミナミメダカの仔魚です。

先日、この小さな池に放したミナミメダカ2世がまた卵を産んだようです。

この池には、様々なトンボのヤゴもいます。

時には親メダカに追いかけられます。

生存競争の厳しい環境でたくましく育っていきます。

ところで、あの大きなギンヤンマのヤゴはどうなったのでしょうか？



マコモの根元あたり
に何かついている
ぞ！

これはヤゴの抜け殻です。紛れもなくギンヤンマのヤゴの抜け殻です。きっとあのヤゴが羽化した跡に違いありません。

この日は、ギンヤンマの成虫には出会えていませんが、いつかあの勇姿を見せてくれるに違いありません。



実験用の鳳仙花（ホウセンカ）が咲き始めました。

6年生の「植物のつくりとはたらき」の学習で、植物の体の中を水がどのように通っているのか調べる実験で使います。

鳳仙花の花を見て「本格的な夏が近づいてきたなあ」と感じています。